



デジタル社会の実現に向けた取組の一層の推進

- ▶ 新たな価値創造や地域課題の解決に向けたDXの取組を通じ、人が人らしく生活し続けられるデジタル社会を実現し、「未来へと幸せが続く滋賀」をつくっていく

【提案・要望先】総務省・デジタル庁

1. 提案・要望内容

システム標準化・共通化に対する財政支援等の充実

- 標準仕様の変更等による自治体の取組の遅れを踏まえた支援、標準仕様の確定を受けたベンダー価格に対応したデジタル基盤改革支援補助金の上限額の見直し
- 既存システムの整理、影響を受けるシステムの改修に対する補助金予算の拡充および交付対象の拡大
- 標準化対象外の業務システムの複数自治体での共同利用やクラウド化への支援

2. 提案・要望の理由

システム標準化・共通化に対する財政支援等の充実

- 一部標準仕様の遅れや、仕様変更等のため自治体の取組に遅れが生じており、補助金による支援では柔軟な取扱いが必要。また、今後、ベンダーが価格設定を行う中で、補助金の基準額の上限を上回ることが予想されるため、その見直しが必要
- システム移行にあたっては、既存システムの契約解除に伴う違約金、基幹業務システムの変更により影響を受ける全てのシステムの改修等の費用が必要になることから、補助金予算の大幅な拡充および交付対象の拡大が必要
- 自治体DXによる行政サービス向上や業務改革の実現に向けて、標準化対象外の業務システムについても、複数自治体での共同利用やクラウド化の取組に対する支援も必要

(本県の取組状況と課題)

システム標準化・共通化に対する財政支援等の充実

本県では、「滋賀県DX推進戦略」(令和4年3月策定)に基づき、地域や産業の持続的な発展と、県民の暮らしをより豊かにするための新たな価値創造を、「暮らし」、「産業」、「行政」の各分野のDXにより実現できるよう、デジタル社会の形成に関する施策を迅速かつ重点的に推進している。

○システム標準化・共同利用推進

～県、市町、スマート自治体滋賀モデル研究会、おうみ自治体ネット整備推進協議会の連携によるシステム標準化・共同利用推進の取組～

県・市町共同調達のスキーム

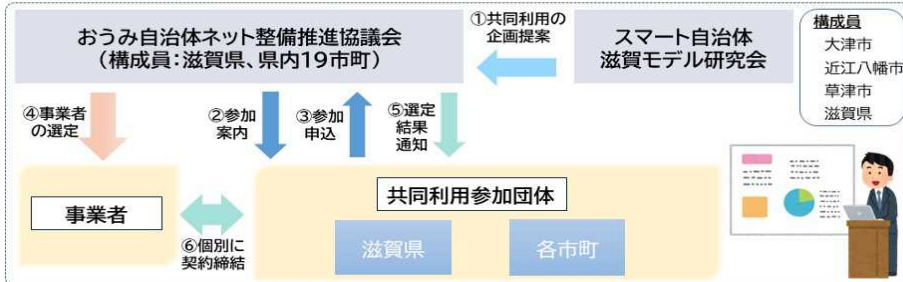
システム調達共同化により、**自治体DXの推進、県民のQoL向上および財政・事務負担の低減**を目指す。

R3調達案件 3件(汎用電子申請システム、行政手続ガイド、ビジネスチャットシステム)

R4調達案件 1件(会議録作成支援システム)



スキーム図



スキーム概要

共同利用の企画・研究・提案	スマート自治体滋賀モデル研究会
共同調達の実施	おうみ自治体ネット整備推進協議会
契約の締結	各共同利用参加団体

○滋賀県DX官民協創サロンの取組

～高い専門性を有する企業とのマッチングや相談対応など、市町のDX推進(デジタル技術を活用した業務改革や地域課題解決、新規事業立案等)の取組を支援～



担当：総合企画部DX推進課
地域DX連携推進室
TEL 077-528-3382